

令和三年度 三学期終業式 三月十五日

登校日数四十七日の三学期も本日で終わりを迎えます。3学期の始業式で、

1年生：「いかに三中生を迎えるか」

2年生：「いかに三中を引き継ぐか」

3年生：「いかに三中を卒業するか」

というお話をしました。どうでしたか。

三学期が始まるや否や、オミクロン株の感染が爆発的に拡大し、短縮授業の実施や部活動の中止をはじめ、各学年の活動も思うように実施することができなくなっていました。しかし、皆さんは、この苦境にあっても、各学年の目指す方向に向かって、着実にその歩みを進めてくれたことを、日々の様子や学年・学級日より、そして学校HP等から感じ取ることができました。そんな三中生の姿を嬉しく思うとともに誇りに感じます。

さて、この数字「 2.7 」は何だと思えますか？

これは、今年一年、図書館の本を借りた一人当たりの平均冊数が、昨年度より減少した数です。一人 2.7 冊も図書館の本を借りる量が減っているのです。これを全校分にとると、5千冊を超える減少になります。

断言はできませんが、今年から始まった「一人一台端末の導入」が要因の一つであることは否定できないよ

うに思います。

これまで本校の図書館本の貸し出し数は、他校と比べても多く、三中生の学力や人間性の育成を支えてきたものと私は思っています。ある新聞に、『なぜだろう』と問いながら自分で本を探すことで、デジタル時代に最も重要な「調べる力」と「批判的思考」が育まれる』という記事がありました。

私は、単に「本の貸し出し数が減ったので、ICT活用を制限しましょう」と言いたいのではありません。自分達の人生をより豊かなものにしていくために、この現状をしっかりと受け止め、両者をどうバランスよく、より効果的なものにしていくか、引き続き、生徒の皆さんと先生方が一緒になって考え、三中スタイルを導き出していった欲しいと思うのです。卒業する三年生にとっても、これからのデジタル時代を生き抜いていくためににも大変意義ある課題であると思います。以上、今年一年の成果をみんなで讃えつつ、今後の課題を明確にして本年度を終えたいと思います。

明日は、いよいよ卒業式。在校生や来賓の皆様は参列できませんが、自主性を磨きながら三中を大きく発展させてくれた三年生、最後まで格好良く、憧れの存在として有終の美を飾ってください。

では四月、誰もが夢と希望に満ちた新年度のスタートとなることを祈ります。